

令和5年（2023年）2月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（４日目）

令和5年2月21日(火)

※1人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	山 川 典 二 (自 由 民 主)	1 港湾行政について	(1) 那覇港港湾計画（改訂版）について伺う (2) 知念市長は1月25日港湾行政に関する国への要請を行った 要請先、要請内容、要請先との会議内容等市長見解を含め伺う (3) クルーズ船受け入れと2月1日供用開始した第2クルーズバースの早期活用及びターミナルビル建設計画について伺う (4) 那覇港管理組合の概要、那覇市から組合への出向職員数、平均勤務年数を伺う。また、那覇港管理組合2月議会で本員は港湾行政に精通する専門職員育成について議論したが、当組合議会に那覇市を代表して出席していた久場副市長に見解を伺う
		2 施政方針（経済のV字回復について）	「稼ぐ力」の向上を後押しする取り組みを以下伺う (1) 令和元年度から3年度の観光収入、入城観光客数と本市の宿泊施設数、宿泊可能人数、また建設中も含め建設予定の宿泊施設数、宿泊可能人数を伺う (2) 情報通信産業事業所数、雇用者数、売上高等本市分も含め現況を伺う
		3 本市の拝所等について	(1) 本市の拝所、神社、仏閣の数を伺う (2) 拝所のひとつ三重城の管理の現状について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 県の「地域 外交室」設置 について	沖縄県が新年度から稼働させる「地域外交室」 の意義と本市との連携の可能性について伺う
		5 防衛問題に ついて	中国の偵察気球について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年２月 21 日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	大城 幼子 (公明党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 子育て支援について 2 福祉行政について 3 健康行政について	公明党は「子どもの幸せを最優先する社会」をめざし、子どもの年齢に応じた切れ目ない支援策を講じるため、昨年11月に「子育て応援トータルプラン」を発表した。2022年度第2次補正予算や23年度予算案に反映された一部施策を含め以下伺う (1) 0～2歳児への支援について、妊娠時からの伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する「出産・子育て応援交付金事業」が創設された。概要と取組を伺う (2) 今年4月より出産育児一時金が増額される。概要と取組を伺う (3) 0～2歳児保育について ① 保育料無償化について本市の見解を伺う ② 専業主婦家庭等が定期的に利用できる制度を伺う (4) 県作成のリトルベビーハンドブックの取組状況を伺う コロナ特例貸付の償還が開始しているが、返済が厳しい方への対応について伺う (1) 那覇市立病院建替えに伴う医療機能の強化について伺う (2) 予防効果がより高いとされる9価HPVワクチンの定期接種化について対象者への個別通知の取組状況を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 就学援助について	令和5年度施政方針で、就学援助の拡充が述べられたことを評価している。今回の拡充の内容を伺う。また、眼鏡の支給を費目に追加することを改めて提案するが見解を伺う
		5 公園行政について	若狭海浜公園トイレの洋式化を求める地域の声がある。対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年２月 21 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	吉 里 明 (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 SDGs 目標達成に向けて 2 医療的ケア児支援について 3 那覇文化芸術劇場なは一について	SDGs 目標 12「つくる責任つかう責任」において、食料廃棄の減少が最も重要な位置づけになっている。以下伺う (1) 食品ロス削減の目標達成に向けた本市の取組状況について伺う (2) 企業との連携、市民への啓発活動の取組について伺う (1) 新年度の「特別支援教育充実事業」の取組について伺う (2) 自宅学習で使用するタブレットや教材などは、その児童生徒にあったものになっているのか見解を伺う (3) こども医療費助成の手続きについて、本庁の窓口で申請することが家族の負担になっているとの声がある 家族の負担を減らす対応ができないか見解を伺う 多くの市民から親しまれ、利用しやすい「なは一と」の運営のために、今後も改善が求められてくる。以下伺う (1) 利用者から、約１年後の予約をしたところ「20 日以内に使用料の振り込みをしなければならぬのでお金を工面するのに苦労した」との声があった。柔軟な対応ができないかを伺う (2) 合唱コンクールで使用した学校関係者から、コロナ感染が拡大している際に、「キャンセル料が発生するため、1 か月前までに開催有無を判断する必要があったので大変困った」との声があった。社会的な影響による開催有無の判断については、実状にあわせて柔軟な対応をとるべきであると考えるが見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 バス停上屋の整備について	第5次那覇市総合計画において、「バス停上屋の整備や発着案内など、バスの利用環境の向上、充実を図ります」とある。本市のバス停上屋の整備状況と今後の取組について伺う
		5 障がい者雇用拡充の取組について	(1) 本市における障がい者雇用の現状と今後の取組について伺う (2) 民間企業における雇用率と法定雇用率を達成した企業の割合、雇用形態の実状について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年２月 21 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	吉 嶺 努 (自 民 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 健康行政について 2 観光行政について 3 防災・消防行政について 4 教育行政について	沖縄県による新型コロナウイルス感染症による死亡者数、クラスター発生件数の情報発信で遅延があったのではないかと訴える市民の声があるが、そうした事実があったならば、市民の健康を守る本市の健康行政に支障が出たのではないか、見解を伺う 沖縄振興開発金融公庫がレポート「ポストコロナ時代における沖縄観光のあり方」中、旅行牽引世代と目されるＺ世代・ミレニアル世代の特徴・旅行への意向等で、沖縄旅行をしない理由に「県内交通が不便」「レンタカー利用に抵抗がある・運転が苦手」の回答が多く、調査では県内の交通事情も旅行先に選ばれない理由となっていると考察していることについて、今後の観光誘客のあり方について本市の考えと取組について伺う 昨年、政府設置の地震調査研究推進本部が南西諸島周辺で起きる大規模な地震の発生確率についてマグニチュード7から 7.5 クラスの巨大地震が今後 30 年以内、与那国島地方で 90%、南西諸島北西沖の沈み込むプレートのやや深い場所で起こる地震は60%と 18 年ぶりに検討結果を公表したことから、防災・消防体制の強化維持に関し更なる強化を図る必要があると考えるが見解を伺う 第3次那覇市教育振興基本計画中、「自らの力で未来を拓く子ども達を応援するまちづくり」のキャリア教育支援について見直すべきではないか見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 平和交流外交行政について	オスプレイの那覇軍港の使用に関し具体的安全策を示す事と、それを履行させるために対話ができる関係性の構築や、安全保障上考える平和外交として国際消防援助隊の登録など那覇市が世界に貢献できる姿勢を示すなど、市民の安全な生活を守る具体策を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年２月２１日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	上 里 直 司 (みんなの協働！)	1 首里のまちづくりについて 2 旧市民会館の緞帳について 3 出産・子育て応援事業について	(1) 首里城公園上の毛地区の入口に当たる区域には、復元された国王頌徳碑（かたのはな碑）とその説明板、首里城公園までの案内板、避難場所案内等が設置されており、街路樹が繁茂している状況も含めて雑然としている。この区域は首里駅から首里城へ向かう観光客にとって首里城への入口とも言える場所であり、さらに近接するバス停、小中高の通学路となるなど地域住民の往来も多い場所である。この区域の意義を再確認した上で、街路樹植栽、案内板の整理、そして修景の点で都市デザインアドバイザー等の意見を活用し、再整備すべきではないか。見解を伺う (2) 昨年 11 月に首里公民館で開かれた議会報告会において、会場にお越しの方から、マイクの音が聞こえづらいという意見があった。その後のアンケートにおいても、音響、マイクが聞こえづらいという回答があったが、以前から公民館利用者から同様の声を聞いている。市はホールでの音響について利用者の声を把握しているのか。また、実際の音響の状況について伺う (3) 首里赤平町にある「通称 らくだ公園」に、首里を散策する市民のためのベンチやトイレの設置を検討すべきではないか。見解を伺う 旧市民会館に設置されていた第一、第二緞帳の現状把握、再利用の可能性に向けた進捗を伺う 親子健康手帳アプリの機能を活用することによって産後ケア事業を含む期待される効果について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 学校での寒さ対策について 5 小学校の修学旅行について	一年に何日か、沖縄でも 10 度を切るような日がある。そうした気象状況において教室内の学校衛生基準は保たれているのかどうか、また、登下校時の児童生徒がコートやマフラーを身にまとう等、学校では認められているのか伺う 児童の平均負担額及び要保護、就学援助世帯等以外の負担軽減策について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年２月 21 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	屋 良 栄 作 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 死亡者数の増減について 2 自然免疫・自己治癒力を高めることについて 3 台湾関連について 4 防災行政について 5 本市における少子化について 6 交通行政について	本市及び沖縄県のコロナ前とコロナ発生から現在までの死亡者数の増減数の傾向・特徴と見解について伺う 2021 年以降、わが国では超過死亡が激増し、带状疱疹やターボ癌と呼ばれる急速に進行する癌なども増加している。超過死亡激増の原因について、専門家の間で見解が割れており、国は特定は困難と国会答弁しているが、私たちの身体の中で何かが起こっていることは確かである。この現状を非常事態ととらえ、市民の命と健康を守るため、医学・医療の原点に立ち返り、自然免疫・自己治癒力を高めることに本市として全力を傾注するべきであると考えているが、見解を伺う (1) 台湾有事が勃発した場合、台湾から多くの避難民が沖縄（那覇）に押し寄せてくることが想定される。その際、本市として、邦人保護に準じた人道的支援をするべきと考えるが、見解を伺う (2) 本市と台北市との間で姉妹都市、または経済・観光・教育に関する何らかの協定を結ぶ意義は大きいと考えるが、見解を伺う 東日本大震災の教訓から、学校に最低 1 名、防災士資格保持者を配置するべきと考えるが見解を伺う 本市における少子化の第一の要因は何か伺う 事故防止のため、壺川大通り上、サンエー V21 つばがわ食品館駐車場出入り口のポイントに、時差式信号機を設置してほしいとの地域の声があるが善処できないか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 文化行政について	本市の旗頭を本市の文化財に指定するべきと考えるが、見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年２月 21 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 スポーツ振興・観光経済発展について	(1) オリンピック憲章は根本原則の一つに「スポーツを行うことは人権の一つ」と謳い、2011 年に成立したスポーツ基本法は、スポーツは世界共通の人類の文化である。と基本理念に掲げ、国及び地方公共団体の責務、スポーツに関する施策の基本となる事項等を定めている。そして、本市は那覇市スポーツ推進計画を策定して施策を展開している。本市の取組を問う (2) 国のスポーツツーリズム推進基本方針は、スポーツツーリズムについて、スポーツを「観る」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光に加え、スポーツを「支える」人々との交流、あるいは生涯スポーツの観点からビジネスなどの多目的での旅行者に対し、旅行先の地域でも主体的にスポーツに親しむことのできる環境の整備、そしてM I C E推進の要となる国際競技大会の招致・開催、合宿の招致も包含した、複合的でこれまでにない「豊かな旅行スタイルの創造」を目指すものであると謳っている。スポーツ振興、施設整備、観光経済発展等にもつながる。そこで、ジャイアンツキャンプ、NAHAマラソン、空手、マリンスポーツなど本市の特徴を生かした持続可能なスポーツツーリズムの推進を目的とする「スポーツツーリズム推進戦略」を策定し、積極的に推進すべきである。M I C E推進を謳った施政方針とも合致する。市長の見解を問う (3) ジャイアンツに石田中学校出身、K B C 学園未来高校沖縄の大城元選手が育成選手として入団した。見解を問う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 障がい者行政について	第 21 回那覇市障がい者美術展（1 月 27 日から 29 日・沖縄県立博物館・美術館）の大きな役割を問う（那覇市身体障害者福祉協会 H P で全作品が写真付きで紹介されている）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 バリアフリー推進について	高齢者・障がい者・妊産婦などを含めた誰もが移動しやすい街づくりへ、ゆいレール駅でのエスカレーター設置の拡大などバリアフリー化の推進が求められている。特に乗降客が多い、那覇空港駅や県庁前駅での下りエスカレーター設置が急がれる。主要株主でもある本市の対応を問う
		4 都市計画行政について	国道 329 号と県道 82 号線が交差する南風原町と隣接する真地地域において用途地域が周辺と一致しない不可思議な問題が市民の指摘で判明した。都市計画法の趣旨にも反している。迅速な見直しへの対応を問う
		5 那覇市の法律違反事件について	先の定例会一般質問で、法律違反を質された担当部の「牽強付会」の答弁は市民と議会への挑戦でもあると考える。そこで、以下何う (1) 那覇市が行なった真嘉比古島第一地区土地地区画整理事業において、司法・最高裁判所は、①那覇市が擁壁の中途に換地線を定めたにも関わらず、全区域の中で唯一、本件だけが換地線から造成工事しなかったことが、他の地権者と比較して著しく不利益であって不公平なものであり、土地地区画整理法第 89 条違反。②造成工事を完了することなく換地処分をしたとして土地地区画整理法第 103 条違反と、那覇市の法律違反を確定した。市民の財産を活用する那覇市の土地地区画整理事業への信頼は失墜している。那覇軍港の地権者からは、自らの財産・跡地利用・区画整理事業を法律も守れない那覇市に任せて大丈夫かとの懸念の声もあがっている。そこで、土地地区画整理事業の基本・柱である換地での重大な法律違反。本市と全国での法律違反事案に照らして、どれだけの重大ミスを犯したのか。また、行政としてどれだけの恥ずかしい法律違反なのか。誰がどのような責任をとったのか。明らかにされたい

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 当該地で那覇市が土地区画整理法第 89 条、第 103 条に違反をせずに、当初から法律を守り、他の地権者と同じく適正な行政執行で換地線から造成工事を行い完了させるということは、石積み擁壁は取り壊して建築基準法上、適格擁壁を造ることになるのか、明らかにされたい (3) 土地区画整理法第 89 条、第 103 条に違反をせずに、当該地で適正な行政執行で造成工事を行なう場合の適法な具体的な擁壁工法を問う。あわせて、その工法で建物は除却されるのか、除去されないのか、明らかにされたい 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年２月 21 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	糸 数 貴 子 (ニ ラ イ)	1 沖縄戦史について 2 教育・保育行政の虐待防止について 3 女性相談について 4 ジェンダー平等について 5 マイナンバーカードについて	沖縄戦の記録と継承について以下伺う (1) 実相調査の必要性について (2) 本市の戦争遺跡について 以下伺う (1) 小中学校、保育園、こども園の子育て支援について (2) 児童虐待防止及び被虐待児への対応 (3) 性的虐待の防止及び被害児童への対応 (4) ヤングケアラーの支援についての現状と課題 (5) 民法の懲戒権削除と子どもの権利擁護についての見解 コロナ禍における女性相談の内容と支援実績、課題について伺う 「男女の賃金の差異」の情報公表への準備を含め、ジェンダー平等な職場環境実現について、本市の取り組みを伺う 健康保険証としてのマイナンバーカードの運用、非取得者への配慮について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式
総括質問方式
(質問席のみ)

一般質問（４日目） 令和５年２月 21 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	多和田 栄子 (ニライ)	1 女性管理職 の登用について	令和４年度、女性管理職の登用状況及び女性ゼロの各種審議会への女性登用はどのようなになっているのか伺う
	質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	2 教育行政について	コミュニティ・スクールとは、学校と保護者、地域の皆さんが共に知恵を出し合い学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域と共にある学校づくり」を進める法律に基づいたしくみであり、努力義務となっている この件について、令和２年 11 月定例会にて質問している。文部科学省では、2022 年迄に全ての小・中学校に導入される事を目指すとある。当時の学校教育部長は、既に取り組んでいる他の自治体を参考にしながら調査研究していきたいとの答弁であった その後、どのように調査研究されたのか、経緯を含め、以下伺う (１) 文部科学省のガイドラインはどのようなになっているか (２) コミュニティ・スクールの導入計画及び委員会規則は作成されているか (３) 地域学校協働活動推進員が必要であるが、現状はどのようなになっているか
		3 小・中学校 の学級定員について	教員不足が深刻で、働き方改革が叫ばれている最中、「少人数学級見直し 40 人学級の可能性」との報道があるが、40 人学級にした場合の本市への影響について伺う
		4 環境行政について	プラスチックごみのリサイクルについて 目薬用保存袋として渡される袋がゴミとなっている。集めれば相当な数になる。本市のプラスチックごみのリサイクルは、どのように処理されているのか、伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長